



【青島支店】

中国における半調理品市場について

1. はじめに

日本では、日常的に目にする冷凍炒飯やチルド惣菜などの半調理品（※）は、以前の中国では日本ほど浸透していませんでした。しかし近年、ライフスタイルの変化により、中国でも個人向けや飲食事業者向けに半調理品市場が拡大しています。今回は、中国でも日常になりつつある半調理品市場についてご紹介します。

※…あらかじめ加工・調理・パッケージされ、温めるか手を少し加えるだけですぐに食べることのできる食品。

2. 中国の半調理品市場について

2022 年の中国における半調理品の市場規模は 4,196 億元（約 8 兆 8,116 億円）となり、2026 年には 1 兆元（約 21 兆円）に到達することが予想されています。市場拡大の背景には、コロナ禍における生活様式の変化や、単身世帯の増加などが影響していると考えられます。また、フードデリバリーの発展により、短時間且つ低コストで商品提供可能な半調理品を使用する飲食店も増加しています。現在、中国における半調理品の普及率は 10%～15%とされている一方で、アメリカや日本における普及率は 60%以上に達しており、市場には拡大の余地があるとされています。

3. 山東省の状況

中国における半調理品の関連企業は約 6 万 4,000 社あり、省別でみると、山東省が 8,654 社で最多となっています。山東省政府は、半調理品の産業チェーン拡大による農業の更なる発展のため、2025 年までに山東省における半調理品関連の企業数を 1 万社超とし、産業チェーン全体の生産額を 1 兆元超とする目標を示しています。

4. 商品構成

中国の生鮮スーパー大手「盒馬」のアプリを用いて、半調理品を検索した結果、餃子などの定番商品に加えて、北京ダックや中国のおせちセットなど、大半が中国らしい品揃えとなっています。一方で、ピザなどの西洋料理や、すき焼き・唐揚げ・レトルト牛丼などの日本料理も確認できます。私自身、唐揚げやレトルトカレーなどの日本料理を購入した経験がありますが、その味や種類には、改善の余地があると感じています。



出典：盒馬アプリ画面

5. おわりに

中国の半調理品市場は発展途上にあるなか、日系企業の有する生産技術や商品開発力などは先行しているものと考えられます。また商品構成からも、日本料理については拡大の余地があるものと考えられるため、そこにビジネスチャンスがあると思われます。

(山口銀行青島支店 河野 竜治)

【参考文献】

- ・ 人民網日本語版：<https://j.people.com.cn/n3/2023/0907/c94476-20068780.html>
: <https://j.people.com.cn/n3/2022/0928/c94476-10153070.html>
- ・ JETRO：<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/07/c57121d5ad23a161.html>